

令和2年度

# 決算の概況(2)

一般会計 歳出の状況

下水道事業会計

農政建設常任委員会関係

都市整備部

## ○決算の概況（2）について

### 1 上段の表中の表示について

- (1) 執行額、翌年度繰越額、執行残額は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は「-」（ハイフン）を表記しています。
- (2) 執行額の財源内訳欄及び執行残額の内訳欄は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は見易さを考慮し空白としています。
- (3) 個々の数字は、表示単位で四捨五入しています。また、財源内訳欄は、それぞれの数値を表示単位で四捨五入し全体額との調整を一般財源欄で行っています。

### 2 執行残額について

執行残額については、大きく4つの理由に分けて金額を表示するとともに、具体的な内容を【執行残額について】に記載しています。

なお、原則として千円単位の表記となっていますが、執行残額が「0」の場合（単位未満の数値がある）は、円単位で表記しています。

※令和2年度事業が令和3年度に複数の課に分割された場合は、令和3年度所管課分の数値を記載し、下段【】書きで令和2年度事業全体事業費を記載してあります。

事業の概要以降は、令和3年度所管課分の事業について作成してあります。

(例) 令和2年度事業費(●●課) 48,000千円



令和2年度事業費(令和3年度○○○課) 36,000千円  
令和2年度事業費(令和3年度△△△課) 12,000千円

※令和2年度と令和3年度で所管課名称が変更になった場合、または、課等の名称が変更になった場合は、下記のとおり表現とし、事業を担当する令和3年度の所管課が作成してあります。

記入例： 令和2年度は●●課で実施した事業が  
令和3年度に○○○課に移管された場合

所管課等	○○○課 (令和2年度所管は●●課)
------	-----------------------

(単位：千円)

決算書 (P ~ P)	款 項 目	所管課等	○○○課 (令和2年度所管は●●課)			
事業名						
予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
36,000 【48,000】						
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	

執行額、翌年度繰越額、執行残額の欄は、次のとおり  
単位未満の数値あり：「0」（ゼロ）  
該当数値なし：「-」（ハイフン）

財源内訳、内訳の欄は、次のとおり  
単位未満の数値あり：「0」（ゼロ）  
該当数値なし：空白

(単位：千円)

決算書 (P140～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	都市整備課
事業名	景観デザイン事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,638	1,415	377				1,038
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,223				1,223	

## 【目的】

良好な景観の保全と創造が図られるよう建築物等の行為について適正に誘導を図るとともに、住民主体の景観まちづくり活動を支援する。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和2年度目標

- ・良好な景観を阻害する建築物等の色彩・照明・サイン等の改善や誘導を図り、周辺地域と調和が図られた景観づくりを推進する。
- ・南本町三丁目の景観まちづくり活動では、住民が主体となって将来的にも取組を継続していくため、その課題と解決方策を地元と共に見いだす。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・景観づくりに重大な影響を及ぼす建築物等の「新築、改築、外観の模様替え、色彩変更」等の行為に対する市への届出等に関し、審査を実施  
届出及び通知件数：110件  
(主な案件：上越文化会館、市営南新町住宅、南川小学校体育館等)
- ・景観アドバイザーによる建築物等へのアドバイスの実施  
アドバイス件数：29件(アドバイス内容の内訳：色彩19件、照明10件、デザイン0件)  
(主な案件：稲田小学校体育館、総合体育館、旧師団長官舎、雪中貯蔵施設等)
- ・南本町三丁目における景観まちづくり活動の支援  
町内会と高校生が連携した雁木の塗装や格子を設置する修景活動の実施に対する連絡調整、灯りイベントの開催に対する助言、フリーペーパーの作成・発行に対する助言、南本町三丁目雁木保存・活用に関する任意協定書及びガイドライン見直しの検討等に対する助言
- ・景観審議会の開催：令和2年12月22日(火)  
上越市景観計画における進捗状況及び今後の進め方、令和2年度の景観事業の報告

決算書 (P140～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	都市整備課
事業名	景観デザイン事業		

○目標達成状況

- ・景観アドバイザーによるアドバイス及び届出制度に基づく審査の実施により、建築物等の色彩や照明について周辺環境と調和するよう誘導し、景観の向上の推進に寄与することができた。
- ・南本町三丁目の景観まちづくり活動では、雁木通りの街並み景観を将来にわたって保全する必要性について、多くの地域住民が賛同を示していることを確認できたことから、既にある雁木の保存に関する任意協定書及びガイドラインに色彩に関するルールを含めるなど、これまでの活動で得た視点を加味した見直しに向けた検討につなげることができた。

【事業の成果】

- ・届出制度や環境色彩ガイドラインの周知のほか、景観アドバイザー制度の活用により、景観法に基づく届出案件について基準に適合するように誘導することができた。
- ・南本町三丁目の景観まちづくり活動では、地域独自の「南本町三丁目景観色彩ガイドライン」の運用及び修景活動や雁木通りのにぎわいづくりなどの活動を継続してきたことにより、地域全体として街並みを保全する意識が高まってきた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・今後も継続的に景観づくりの取組に関する情報を発信していく必要があるため、積極的にSNS等を活用した情報発信を行っていく。
- ・南本町三丁目の景観まちづくり活動においては、雁木通りの街並みを将来にわたって受け継いでいくため、法的根拠に基づく地域独自の景観まちづくりルール策定に向けた検討が必要である。
- ・南本町三丁目の取組を他の地区にも広げていくため、積極的に情報発信するとともに、景観づくりをサポートする新たな活動地区の検討を進めていく。

【執行残額について】

○その他	1,223
・実績が見込みを下回ったもの	1,223
報酬	15
報償費	610
旅費	306
需用費	36
使用料及び賃借料	7
負担金補助及び交付金	249

(単位：千円)

決算書 (P150～P151)	2款1項16目 みどりのまち推進費	所管課等	都市整備課
事業名	みどりのまち推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,059	6,532					6,532
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	527		450		77	

## 【目的】

イベントを通じて、市民の緑化に対する意識の高揚を図る。

沿道や施設の花壇等を維持管理し植栽を行うことにより、緑化による市民の心の豊かさの向上を図る。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■上越市みどりのフェスティバル実行委員会交付金

## ○令和2年度目標

- ・イベントの来場者数で5,800人、来場者へのアンケートで緑化意識が高まったとする人の割合で9割を目標とする。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・開催向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から「上越市みどりのフェスティバル」の開催を中止した。

## ○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により「上越市みどりのフェスティバル」の開催を中止した。

## ■植栽管理等委託ほか 6,532

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・沿道や施設の花壇等の維持管理や植栽を行った。

種別	面積	箇所数、緑化場所等
沿道花壇	7,258 m <sup>2</sup>	50か所 (合併前上越市9か所、7区41か所) 国道8号石橋交差点、国道405号牧区総合事務所前等
施設花壇	1,370 m <sup>2</sup>	10か所 (合併前上越市3か所、4区7か所) 上越文化会館、五智公園等

決算書 (P150～P151)	2款1項16目 みどりのまち推進費	所管課等	都市整備課
事業名	みどりのまち推進事業		

種別	面積	箇所数、緑化場所等
その他	—	26か所（合併前上越市1か所、6区25か所） 高田城址公園内プランター、国道253号歩道内プランター（大島区大平地内）等
合計	8,628㎡	86か所（合併前上越市13か所、9区73か所）

※一部の花壇等は地元町内会や緑化団体が管理及び植栽を実施

### 【事業の成果】

- ・上越市民みどりの憲章に掲げる、「みどりの大切さを学び、みどりを守り育て、みどりを次の世代に引き継いでいく」取り組みの一環として、沿道や施設の花壇等を維持管理し、植栽を行うことにより緑化意識の啓発や景観の向上、環境の保全を図ることができた。

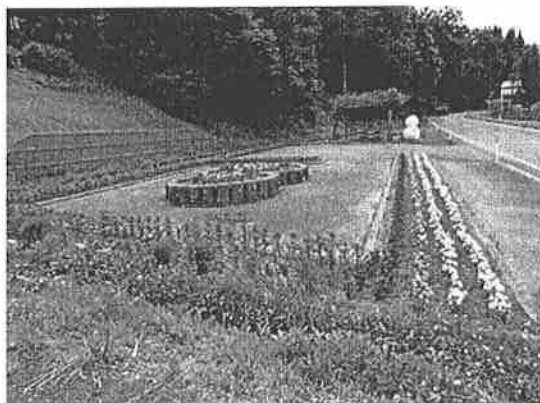
### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により「上越しみどりのフェスティバル」の中止を余儀なくされたため、次年度以降は感染対策を実施した上でフェスティバル開催し、緑化意識の啓発を図っていく必要がある。

### 【執行残額について】

○事業未実施	450
負担金補助金及び交付金	450
○その他	77
・実績が見込みを下回ったもの	75
委託料	75
・事業実施に伴う端数残	2
需用費	2

### 〔植栽管理状況〕



県道上越安塚浦川原線高校下公園花壇  
(安塚区)



高田城址公園第8駐車場花壇

(単位：千円)

決算書 (P244～P245)	4款2項2目 生活環境費	所管課等	生活排水対策課
事業名	生活排水対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,782	23,436	9,059				14,377
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,346				3,346	

## 【目的】

合併処理浄化槽の設置に対し補助を行い、下水道事業及び農業集落排水事業と併せた汚水処理の推進を図る。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和2年度目標

- 合併処理浄化槽設置の啓発及び補助事業の周知を行い、補助金を交付することにより、下水道事業計画区域外及び農業集落排水区域外における合併処理浄化槽の設置を推進する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- 合併処理浄化槽等設置費補助金(令和2年度補助実績内訳)

区域	区分	補助基本額	基数	補助金額	
					うち国庫支出金
下水道事業 計画区域を除く 下水道全体 計画区域内	5人槽	235	7	1,645	548
	7人槽	294	5	1,470	490
	10人槽	392	1	392	130
	計		13	3,507	1,168
下水道全体 計画区域外及 び農業集落排 水事業区域外	5人槽	352	25	8,800	2,933
	7人槽	441	16	10,476	3,492
	10人槽	588	1	588	196
	計		42	19,864	6,621
年度間調整分					1,270
合計			55	23,371	9,059

※補助金額の中には 単独処理浄化槽撤去費 8基 720千円  
宅内配管設置費 9基 2,700千円 を含む

決算書 (P244～P245)	4款2項2目 生活環境費	所管課等	生活排水対策課
事業名	生活排水対策事業		

・補助基数の推移

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成4年度 (制度開始) ～令和2年度
補助基数	51	53	55	3,608
補助金額	17,281	23,299	23,371	1,869,332
合併処理浄化槽 処理人口普及率	9.8%	9.9%	9.8%	
汚水処理人口 普及率※	87.4%	88.5%	89.7%	

※ (下水道供用人口 + 農業集落排水供用人口 + 合併処理浄化槽処理人口) / 行政人口 × 100  
 (119,683人) (30,790人) (18,511人) (188,382人)

○目標達成状況

- ・合併処理浄化槽設置の啓発活動や補助事業を周知したことにより、補助制度を利用して合併処理浄化槽55基の整備が促進された。

【事業の成果】

- ・汚水処理人口普及率が、令和元年度比1.2ポイント増の89.7%となり、汚水処理の推進を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、くみ取り便槽や単独処理浄化槽の使用世帯に対し、生活排水処理の重要性の啓発及び補助事業の周知を行い、合併処理浄化槽への転換を促していく必要がある。
- ・合併処理浄化槽等設置費補助金制度により合併処理浄化槽の設置を支援し、公共下水道事業及び農業集落排水事業と併せた市全体における汚水処理の推進を図っていく。

【執行残額について】

○その他	3,346
・実績が見込みを下回ったもの	3,346
旅費	15
負担金補助及び交付金	3,331



(単位：千円)

決算書 (P 306～P 307)	8 款 1 項 2 目 建築指導費	所管課等	建築住宅課
事業名	建築指導費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,197	8,804	1,426	1,021		5,052 (手数料)	1,305
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,393				1,393	

## 【目的】

木造住宅の耐震診断、耐震設計及び耐震改修を支援することにより、市民の防災意識の高揚を図るとともに、地震に強いまちづくりを推進する。

倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去費用を助成することにより、災害時等における被害の未然防止及び避難経路等の通行の確保に努める。

迅速かつ的確な建築確認審査を実施するほか、定期報告制度の適正な運用による建築物等の適確な維持管理を推進し、市民の生命、健康及び財産の保護を図る。

## 令和 2 年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■木造住宅耐震化支援事業 1,496

## ○令和 2 年度目標

- ・事業の積極的な活用を市民へ促すとともに、新潟県耐震改修促進協議会と連携しながら、引き続き耐震診断の普及促進や耐震化に向けた積極的なPRを行い、耐震化を図る。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・平成 30 年度から拡充した耐震診断の全額補助や耐震シェルター等の補助について、広報上越等による周知のほか、耐震シェルター等については、福祉部局との連携により高齢者に対し窓口でのチラシの配布によるPRを行った。
- ・補助金交付実績

区分	予定件数 (件)	交付件数 (件)	補助額
木造住宅耐震診断補助金	8	8	726
木造住宅耐震設計補助金	1	1	120
木造住宅耐震改修補助金	耐震改修	1	650
	耐震シェルター等	1	0

決算書 (P306～P307)	8款1項2目 建築指導費	所管課等	建築住宅課
事業名	建築指導費		

○目標達成状況

- ・耐震シェルター等への補助金の交付実績はなかったものの、耐震設計及び耐震改修については各々1件、耐震診断については8件の補助を行い、木造住宅の耐震化を図ることができた。
- ・木造住宅耐震化支援事業交付実績 (単位：件)

区分	年度							
	H16～H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
耐震診断	396	11	13	9	2	12	9	8
耐震設計	28	2	3	0	0	1	0	1
耐震改修	29	4	0	1	0	0	1	1
耐震シェルター等	-	-	-	-	-	0	1	0

■ブロック塀等撤去支援事業 2,256

○令和2年度目標

- ・避難経路等に倒壊するおそれのあるブロック塀等の削減を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・早急に安全措置を促すため、令和2年度までの2か年の時限的な事業として新設したブロック塀等撤去の補助事業については、広報上越等による周知のほか、小学校の通学路の点検にあわせて危険なブロック塀等の情報提供を受け、管理者等に対し注意喚起や補助制度の周知を行った。
- ・補助金交付実績

区分	予定件数 (件)	実施件数 (件)	補助額
ブロック塀等撤去補助金	20	17	2,256

○目標達成状況

- ・令和2年度では17件、令和元年度では25件の補助を行い、2か年の時限的な事業として、避難経路等に倒壊するおそれのあるブロック塀等が削減されたことにより、災害時等における被害の未然防止策として寄与することができた。

■建築基準法の運用及び建築確認申請業務 5,052

○実施内容、これまでの経過等

- ・建築確認申請受付件数 (建築物) (単位：件)

受付機関	年度				
	H28	H29	H30	R1	R2
上越市	205	186	185	141	87
指定確認検査機関	684	669	761	735	685
合計	889	855	946	876	772

決算書 (P.306～P.307)	8 款 1 項 2 目 建築指導費	所管課等	建築住宅課
事業名	建築指導費		

・ 建築確認申請受付件数比 (単位：%)

地域 \ 年度	H28		H29		H30		R1		R2	
	特	指	特	指	特	指	特	指	特	指
上越市	23	77	22	78	20	80	16	84	11	89
新潟県	14	86	12	88	11	89	10	90	-	-
全国	12	88	11	89	10	90	9	91	-	-

※「特」は特定行政庁、「指」は指定確認検査機関

※「R2」の新潟県及び全国の割合は未公表

#### 【事業の成果】

- ・ 木造住宅耐震化支援事業及びブロック塀等撤去支援事業の継続のほか建築確認申請等における建築基準法の的確な運用により、建築物の安全性を確保することができた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 地震に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震化の重要性や必要性、補助事業について、広く周知に努めているが、昭和 55 年以前に建築された建物は、既に 40 年以上経過しており、耐震化の改修に多額の費用を要することや所有者の高齢化などの理由により、耐震改修よりも建替えや、継続利用した後の解体を選択する方のニーズが強いものと推察している。
- ・ 平成 30 年度から拡充した耐震診断の全額補助により、診断実施件数が平成 29 年度の 2 件に対し、近年は実施予定件数の 8 件を達成していることから、引き続き、耐震診断を通じて市民の防災意識の高揚に向けた情報発信を行い、地震に強い住環境の整備を進める。
- ・ 危険なブロック塀等に対する注意喚起については、市ホームページにおける周知のほか、小学校の通学路の点検にあわせ継続的に実施する。
- ・ 建築基準法の運用については、今後も的確な運用により、建築物の安全性を確保する。

#### 【執行残額について】

○その他	1,393
・ 実績が見込みを下回ったもの	1,393
報酬	61
共済費	18
旅費	206
需用費	34
役務費	14
委託料	12
使用料及び賃借料	18
負担金補助及び交付金	1,030

(単位：千円)

決算書 (P308～P309)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	道路管理総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
57,958	54,322				1,245 (手数料、財産収入、 諸収入)	53,077
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,636			861	2,775	

## 【目的】

市道を適切に管理するため、市道敷地内の所有権移転が未了の土地において所有者及び権利について調査を行うほか、用地測量業務などを実施し、計画的に土地の所有権の移転を行う。道路法に基づく道路台帳（調書及び図面）の整備を行う。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■未登記土地の処理 7,479

## ○令和2年度目標

- ・31筆の測量・調査業務委託を早期に発注するとともに、測量が不要な134筆と合わせた165筆の所有権移転登記を年度内に完了する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・分筆登記が必要な土地については、測量等を実施した後、所有権移転登記を行い、未登記を解消する。
- ・主な経費

項目	令和2年度		内容
	発注件数	金額	
測量委託料	9	3,983	用地測量業務
調査業務委託料	10	3,496	用地調査業務
合計	19	7,479	

## ○目標達成状況

- ・測量・調査業務委託は、計画どおり早期に発注することができた。
- ・所有権移転登記は、令和2年度の測量成果14筆、測量が不要な84筆と地権者から申出を受けた125筆を合わせた223筆となり、令和2年度の測量成果分としては一部登記が未了となった。

決算書 (P308～P309)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	道路管理総務費		

■道路台帳整備委託 13,379

○実施内容、これまでの経過等

- ・道路法に基づく道路台帳調書及び地方交付税算定調書等作成
- ・道路台帳附図の新規作成及び修正
- ・主な経費

項目	令和2年度		内容
	発注件数	金額	
道路台帳整備委託料	1	4,168	道路台帳調書等作成業務
	4	9,211	道路台帳附図補正業務
合計	5	13,379	

【事業の成果】

- ・未登記土地の処理については、令和2年度に測量・調査を実施したうちの14筆、測量が不要な84筆と地権者から申出を受けた125筆のほか、令和元年度までに測量・調査を実施したうちの129筆を合わせた352筆の所有権移転登記を完了し、未登記土地の処理の進捗を図った。
- ・道路台帳を補正し、市民等が現況に即した道路台帳附図を閲覧できるようにした。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・未登記土地の処理については、長い間相続登記のされていない土地や団地内道路の共有名義の土地など、処理が困難な土地が多く残っている状況である。このことから、調査や交渉などの事務手続に多くの日数を要しており、当該年度の測量成果分を年度内に登記することが困難となる案件が増えている。

【執行残額について】

○入札差金	861
需用費	2
委託料	858
備品購入費	1
○その他	2,775
・実績が見込みを下回ったもの	2,759
報酬	8
共済費	59
旅費	199
需用費	551
役務費	55
委託料	1,711
使用料及び賃借料	131
負担金補助及び交付金	42
公課費	3

決算書 (P308～P309)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	道路管理総務費		

・事業実施に伴う端数残	16
報酬	1
職員手当等	1
共済費	1
旅費	1
需用費	2
役務費	2
委託料	1
使用料及び賃借料	4
備品購入費	1
償還金、利子及び割引料	1
公課費	1

(単位：千円)

決算書 (P308～P309)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	私道整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,848	2,817					2,817
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	31				31	

## 【目的】

私道の整備に係る経費の一部を補助することにより、市民の生活環境の向上を図る。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和2年度目標

- ・予定する私道整備に対して、適切な補助金交付事務を行うとともに、降雪前までに整備が完了できるように、申請者に対し指導する。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・事業内容

施工地		事業内容			事業費(円)	補助金(円)
		工種	延長(m)	幅員(m)		
合併前 上越市	三田	側溝改良	72.2	0.3	2,519,000	1,000,000
	中通町	舗装修繕	21.5	1.7	297,000	118,000
	国府一丁目	舗装新設	85.0	3.3	1,749,000	699,000
中郷区	岡沢	道路改良	87.7	3.0～4.2	4,180,000	1,000,000
合計 4件			266.4	—	8,745,000	2,817,000

## ・過去5年間の実施状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	10	11	5	4	4
補助額(千円)	5,918	5,156	2,303	2,167	2,817
延長(m)	360.9	548.0	288.1	128.8	266.4

決算書 (P308～P309)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	私道整備事業		

○目標達成状況

- ・4町内で実施した全ての事業において、降雪前の10月末までに整備が完了した。

【事業の成果】

- ・私道整備事業補助金制度の活用により、私道の整備が促進され、生活環境の向上を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市民の生活環境の向上を図るため、私道整備事業補助金制度が活用され、私道の整備が促進されるよう、市ホームページ、広報上越により周知に努めていく。

【執行残額について】

○その他	31
・事業費の実施減によるもの	31
負担金補助及び交付金	31

〔私道整備事業補助金制度を活用した舗装新設工事(国府一丁目地内)〕



着手前



竣工



(単位：千円)

決算書 (P308～P311)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
837,559	774,718	25,190		157,300	13,075 (財産収入、繰越金、 諸収入)	579,153
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
47,639	15,202			1,137	14,065	

## 【目的】

道路パトロールや市民からの通報等により発見した損傷箇所の修繕を行うほか、道路清掃、除草等を実施し、交通に支障を来さないよう適切な維持管理を行う。

また、市道の草刈りや側溝清掃等を地域との協働作業により実施し、道路維持費の縮減を図る。

市道の法面対策工事を実施し、災害の発生予防や拡大防止を図る。

直江津駅・黒井駅の自由通路、アンダーパス等の道路施設の適切な保守管理を行う。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■道路維持修繕・委託業務 708,972

## ○令和2年度目標

- ・道路パトロールや市民からの通報により発見した損傷箇所については、即日に安全対策を講じ、早期の復旧を図る。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(3月補正追加)

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・道路パトロールや市民、関係機関からの通報等により発見した損傷箇所の修繕工事を速やかに実施した。
- ・道路照明施設の修繕計画を策定するため点検を実施した。
- ・道路及び側溝清掃のほか、草刈りや街路樹の剪定等を行った。
- ・地域が行う各種作業がスムーズに実施できるよう、必要な機材を貸し出した。
- ・外側線等の摩耗が著しい路線について、計画的に引き直し修繕を行った。
- ・舗装の劣化や損傷により、安全な通行に支障のある路線について、計画的に修繕を行った。
- ・通学路に指定されている市道の交通安全対策を実施した。

決算書 (P308～P311)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

・主な経費

項目	令和2年度		内容
	件数	金額	
施設管理委託料	22	132,972	道路パトロール等
街路樹管理委託料	73	36,502	街路樹の剪定、冬囲い、害虫駆除等
道路清掃管理委託料	27	9,153	幹線道路の清掃
道路側溝清掃管理委託料	20	6,414	道路側溝の清掃
道路草刈業務委託料	159	43,299	市道沿線の草刈り
調査業務委託料	4	8,385	道路照明施設の点検
市内一円道路修繕工事	469	278,146	舗装、外側線、側溝、ガードレール等の修繕
道路維持修繕工事	11	140,580	計画的舗装修繕
交通安全対策工事	35	23,027	通学路におけるグリーンラインの設置等
合計	820	678,478	

○目標達成状況

- ・道路パトロールや市民からの通報等により発見した損傷箇所、一般交通に支障を来す箇所については、即日に安全対策を講じ、速やかに道路修繕を行った。
- ・国の補正予算活用分については、計画どおり早期に発注を行った。

■緊急自然災害防止対策事業 39,280

○令和2年度目標

- ・災害防止対策工事については、11月末までに完了する。

○実施内容、これまでの経過等

・主な経費

項目	令和2年度		内容
	件数	金額	
災害防止対策工事	2	39,280	法面对策工事

○目標達成状況

- ・災害防止対策工事は、11月末までに現場の作業が完了した。

決算書 (P308～P311)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

■その他道路管理業務 26,466

○実施内容、これまでの経過等

- ・直江津駅及び黒井駅の自由通路、市道アンダーパス等の道路施設管理を実施した。
- ・主な経費

項目	令和2年度		内容
	件数	金額	
排水施設等電気料金	20	7,128	直江津駅及び黒井駅自由通路、市道アンダーパス等の電気料金
施設管理委託料	24	16,129	直江津駅及び黒井駅自由通路、市道アンダーパス等の道路施設管理
市内一円道路修繕工事	1	429	直江津駅南北自由通路漏水修繕工事
合計	45	23,686	

【事業の成果】

- ・道路損傷箇所の修繕、道路清掃及び除草等を実施したほか、摩耗が著しい外側線について、計画的に引き直し修繕を行うことにより、道路の保全及び円滑な交通を確保し、安全・安心な道路環境を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・道路舗装の経年劣化や外側線等の摩耗の著しい路線が増加していることから、引き続き計画的な修繕に努めていく必要がある。
- ・道路管理瑕疵による事故発生を防ぐため、道路維持管理業務委託によるパトロールと職員によるパトロールを実施し、損傷箇所の早期発見・早期修繕に努めていく必要がある。

【執行残額について】

○入札差金	1,137
需用費	5
委託料	1,111
工事請負費	21
○その他	14,065
・実績が見込みを下回ったもの	14,035
報酬	335
給料	205
職員手当等	31
共済費	398
報償費	13
旅費	9
需用費	1,043
委託料	601
使用料及び賃借料	120
工事請負費	11,215
原材料費	65

決算書 (P308～P311)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

・事業実施に伴う端数残	30
報酬	1
給料	1
職員手当等	3
共済費	2
旅費	1
需用費	4
役務費	1
委託料	5
使用料及び賃借料	5
工事請負費	2
原材料費	3
備品購入費	1
負担金補助及び交付金	1

(参考) 道路維持費の推移

(単位：千円)

平成30年度	令和元年度	令和2年度
987,807	706,016	774,718

(単位：千円)

決算書 (P310～P311)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	上越妙高駅周辺施設維持管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
27,636	26,618				534 (雑収入)	26,084
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,018			96	922	

**【目的】**

自由通路、昇降施設及び駅前広場等の上越妙高駅周辺の公共施設について、維持管理を適切に行い、駅利用者に安全・安心かつ快適な利用環境を提供する。

## 令和2年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・委託料 16,619  
自由通路エレベータ・エスカレータ保守点検業務  
自由通路エスカレータ遠隔監視業務  
自由通路及び東口・西口駅前広場、駅前公園、駐車場、公衆トイレ清掃業務ほか
- ・工事請負費 220  
東口・西口ロータリー路面標示修繕工事

**【事業の成果】**

- ・上越妙高駅周辺の公共施設を適切に維持管理し、駅利用者に安全・安心、かつ快適な利用環境を提供した。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・駅利用者から安全・安心、かつ快適に施設を使用していただくため、引き続き適切な維持管理を行う。

**【執行残額について】**

○入札差金	96
委託料	96
○その他	922
・実績が見込みを下回ったもの	922
需用費	196
工事請負費	726

(単位：千円)

決算書 (P310～P311)	8 款 2 項 3 目 道路新設改良費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	八千浦地区周回道路新設事業費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
110,389	109,142				108,533 (県債収入繰入金 繰越金請求)	609
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,247			680	567	

**【目的】**

上越火力発電所の建設に伴う八千浦地区の地域振興事業として、生活道路や雨水排水路の整備を推進する。

## 令和 2 年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和 2 年度目標

- ・北側周回道路について、8 月末までに供用開始を図る。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ◇令和元年度繰越明許分

- ・道路改良工事 L=669m
- ・防風柵設置工事 L=123m

## ◇令和 2 年度現年分

- ・舗装新設工事 L=669m
- ・防犯灯設置工事 N=21 基

## ○目標達成状況

- ・既設市道との接続部において、新たに隅切りの設置が必要となったことから、用地取得等の業務に時間を要したため、供用開始が 10 月末となった。

**【事業の成果】**

- ・北側周回道路の全線開通により、八千浦地区の生活環境の向上及び安全安心の確保が図られた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・南側周回道路の整備については、今後の保倉川放水路計画の具体化に併せて検討を行う必要がある。

決算書 (P310～P311)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	八千浦地区周回道路新設事業費		

【執行残額について】

○入札差金	680
工事請負費	540
備品購入費	140
○その他	567
・実績が見込みを下回ったもの	564
共済費	3
旅費	11
需用費	59
役務費	15
委託料	17
工事請負費	396
公有財産購入費	63
・事業実施に伴う端数残	3
報酬	1
使用料及び賃借料	1
補償、補填及び賠償金	1

(単位：千円)

決算書 (P310～P313)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,661,601	858,271	453,522		376,100	15,930 <small>(繰越金)</small>	12,719
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
789,917	13,413		12,321		1,092	

## 【目的】

狭隘道路の拡幅改良や通学路における歩道新設、老朽化が著しい道路側溝の改良など、市道の整備を推進し、市民の生活環境の向上を図る。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和2年度目標

- ・工事については、早期に発注し、降雪前の11月末までに完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(3月補正追加)

## ○実施内容、これまでの経過等

## ◇令和元年度繰越明許分

地区	路線名	施工地	主な執行額		内容
合併前 上越市	三ツ橋三田 新田線 (都市計画道路黒 井藤野新田線)	三田新田 ほか	委託料	34,103	用地測量・調査 一式
			工事請負費	363	道路舗装 L=13m
			公有財産購入費	13,655	用地取得 A=3,009 m <sup>2</sup>
			補償、補填及び賠償金	32,952	物件補償 一式
			委託料	33,821	詳細設計(踏切) 一式
			公有財産購入費	500	用地測量・調査 一式 物件調査 一式 予納金 一式
	北本町四丁 目飯線 (踏切拡幅)	飯ほか			
	大和三南高 田線	南高田町 ほか	委託料	8,960	路線測量 一式 予備設計(橋梁) 一式
	南方線	南方	工事請負費	5,833	道路改良 L=56m
	戸野目下稲 田線	稲田三丁 目	工事請負費	11,471	側溝改良 L=275m
	小町環状線 ほか	春日新田 二丁目	工事請負費	6,793	側溝改良 L=96m



決算書 (P310～P313)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

地区	路線名	施工地	主な執行額		内容	
合併前 上越市	三交直江津 五智環状線 (歩道新設)	東雲町一 丁目	工事請負費 公有財産購入費	11,758 13,220	歩道新設 用地取得	L=88m A=348㎡
	三交直江津 五智環状線 (側溝改良)	五智四丁 目	工事請負費 補償、補填及び賠償金	2,274 260	側溝改良 物件補償	L=36m 一式
	西ヶ窪浜7 号線ほか	西ヶ窪浜 ほか	工事請負費	27,717	側溝改良	L=564m
	大豆二丁目 14号線ほか	大豆二丁 目	委託料	2,127	測量設計	一式
	大豆石橋線	石橋	工事請負費 補償、補填及び賠償金	2,013 446	側溝改良 物件補償	L=32m 一式
	市役所新光 町一丁目線	新光町一 丁目	委託料 工事請負費 補償、補填及び賠償金	983 7,070 365	測量設計 側溝改良 物件補償	一式 L=80m 一式
	杉野袋上千 原線	上千原	委託料	2,517	測量設計	一式
	市役所前通 線	新光町一 丁目	委託料 工事請負費	704 5,372	測量設計 歩道新設	一式 L=50m
	春日山町団 地南幹線	春日山町 二丁目	委託料	2,141	測量設計	一式
	北本町春日 山町線	春日山町 一丁目	工事請負費 補償、補填及び賠償金	5,753 128	歩道新設 物件補償	L=21m 一式
	東本町三丁 目2号線 ほか	東本町三 丁目	委託料	1,456	測量設計	一式
	昭和町一丁 目12号線	昭和町一 丁目	工事請負費	4,678	側溝改良	L=65m
	平山10号線 ほか	大貫四丁 目	工事請負費	29,296	側溝改良	L=575m
	仲町線ほか	仲町二丁 目ほか	委託料	2,184	測量設計	一式
柿崎区	坂田池尻線	坂田新田	工事請負費	8,620	側溝改良	L=171m
	裏浜線	柿崎	工事請負費	21,251	側溝改良	L=379m
三和区	今保北代線	今保ほか	工事請負費	14,347	道路改良 歩道新設	L=62m L=120m

決算書 (P310～P313)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

◇令和2年度分

地区	路線名	施工地	主な執行額		内容	
合併前 上越市	三ツ橋三田 新田線 (都市計画道路黒 井藤野新田線)	三田新田 ほか	委託料	33,795	物件調査	一式
			工事請負費	154,277	地質調査	一式
			公有財産購入費	9,764	軟弱地盤解析	一式
			補償、補填及び賠償金	4,304	道路舗装	L=68m
					橋梁下部工	一式
					用地取得	A=1,308 m <sup>2</sup>
					物件補償	一式
	西本町一丁 目4号線	西本町一 丁目	工事請負費	13,594	道路改良	L=117m
			補償、補填及び賠償金	2,805	物件補償	一式
	下門前区画 18号線	塩屋新田	委託料	2,835	測量設計	一式
					用地測量・調査	一式
	北本町四丁 目飯線 (踏切拡幅)	飯ほか	公有財産購入費	4,130	用地取得	A=936 m <sup>2</sup>
			補償、補填及び賠償金	1,852	物件補償	一式
	飯御殿山町 線	飯	工事請負費	9,151	道路改良	L=83m
			補償、補填及び賠償金	1,226	物件補償	一式
	平山団地1 号線ほか	大貫四丁 目	工事請負費	15,990	側溝改良	L=260m
	中通町東線	中通町	委託料	2,306	測量設計	一式
				用地測量・調査	一式	
南高田町9 号線ほか	南高田町	工事請負費	15,997	側溝改良	L=305m	
		補償、補填及び賠償金	1,389	物件補償	一式	
大和五丁目 団地1号線 ほか	大和五丁 目	工事請負費	44,883	側溝改良	L=885m	
		補償、補填及び賠償金	3,581	物件補償	一式	
石沢学校線	石沢	委託料	943	用地測量・調査	一式	
小町環状線 ほか	春日新田 二丁目	工事請負費	35,185	側溝改良	L=528m	
		補償、補填及び賠償金	2,555	物件補償	一式	
三田新田下 源入線ほか	上源入 ほか	委託料	5,185	測量設計	一式	
				用地測量・調査	一式	
東中島三分 一橋線	下吉野	工事請負費(前払金)	42,800	道路改良	L=62m	
		補償、補填及び賠償金	1,104	物件補償	一式	
富岡北田屋 新田線	富岡	委託料	2,169	測量設計	一式	
戸野目南新 保線	戸野目 ほか	工事請負費	35,543	道路改良	L=210m	
下新町上野 田線	下池部	委託料	385	用地測量・調査	一式	
		工事請負費	11,850	歩道新設	L=126m	
		公有財産購入費	1,239	用地取得	A=88 m <sup>2</sup>	

決算書 (P310～P313)	8 款 2 項 3 目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

地区	路線名	施工地	主な執行額		内容	
合併前 上越市	東本町通り 線	東本町三 丁目ほか	工事請負費	45,223	側溝改良	L=581m
	幸町幹線	幸町	委託料	2,771	測量設計 用地測量・調査	一式 一式
柿崎区	高寺馬正面 線	馬正面	委託料	6,642	用地調査	一式
			負担金及び交付金	5,938	物件調査 合併施工負担金	一式 一式
三和区	里五十公野 線	田	工事請負費	19,990	歩道新設	L=180m
			公有財産購入費	1,246	用地取得	A=1,780㎡

○目標達成状況

- ・当初予算に係る工事 12 か所のうち、西本町一丁目 4 号線ほか 6 か所は降雪前の 11 月末までに完了することができたが、南高田町 9 号線ほか 2 か所は、関連事業等との調整に時間を要したことから、令和 2 年度末の完了となった。
- ・三ツ橋三田新田線ほか 1 か所は、用地取得及び物件補償に伴う関係者との交渉や施工方法の再検討に日数を要したことから繰越となった。
- ・国の補正予算活用分 12 か所の工事等については、計画どおり早期に発注を行った。

【事業の成果】

- ・生活関連道路の整備を実施し、市民の安全な通行の確保及び日常生活における生活環境の改善を図ることができた。

〔道路改良 西本町一丁目 4 号線（西本町一丁目地内）〕



着手前



竣工

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・関連事業等との調整に時間を要したことで降雪前に完了できなかった箇所のほか、用地取得及び物件補償に伴う関係者との交渉や施工方法の再検討に日数を要したことで繰越となった箇所があったため、調整等については早期に協議を進め、事業の適切な進捗管理に努めていく必要がある。

決算書 (P310～P313)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

【執行残額について】

○事業未実施	12,321
委託料	11,870
公有財産購入費	451
○その他	1,092
・実績が見込みを下回ったもの	1,083
委託料	762
工事請負費	321
・事業実施に伴う端数残	9
需用費	2
公有財産購入費	1
負担金補助及び交付金	1
補償、補填及び賠償金	5

(単位：千円)

決算書 (P312～P313)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
725,733	462,455	253,173		164,700	12,853 (繰越金)	31,729
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
263,125	153			151	2	

## 【目的】

橋梁の損傷箇所を修繕を行い、長寿命化を図るとともに、一般交通に支障を来さないよう橋梁の維持管理を行う。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和2年度目標

- ・222橋の定期点検を早期に発注し、12月末までに完了するとともに、跨線橋、跨道橋の13橋は各管理者と点検に係る協定を締結し、3月中旬までに点検を完了する。
- ・早期措置段階の31橋の修繕工事を早期に発注するとともに、架け替え工事については、東日本旅客鉄道株式会社との協定を7月末までに締結する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(3月補正追加)

## ○実施内容、これまでの経過等

## ◇令和元年度繰越明許分(修繕工事)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	春日山橋 (富岡木田線)	木田ほか	工事請負費 83,969	塗装塗替え 伸縮装置取替え 一式 橋面防水
	稲田橋 (四辻町稲田橋線)	稲田二丁目 ほか	工事請負費 90,360	伸縮装置取替え 一式 橋面防水
	三分一橋 (東中島三分一橋線)	下五貫野ほか	工事請負費 50,967	塗装塗替え 一式
	無名橋 (安江小町団地線)	安江二丁目 ほか	工事請負費 3,155	塗装塗替え 断面修復 一式 橋面防水
	下法光寺橋 (戸野目南新保線)	桐原	工事請負費 2,606	断面修復 一式 ひび割れ補修
	中正橋 (中正善寺1号線)	中正善寺	工事請負費 4,389	断面修復 一式 ひび割れ補修

決算書 (P312～P313)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
大潟区	重併橋 (大潟3001号線)	潟守新田ほか	工事請負費 17,924	断面修復 ひび割れ補修 塗装塗替え 伸縮装置取替え 一式

◇令和元年度繰越明許分 (その他業務)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	中正橋 (中正善寺1号線)	中正善寺	委託料 2,329	実施設計 一式
	無名橋 (上昭和町藤巻線)	滝寺	委託料 2,926	実施設計 一式
安塚区	真萩平橋 (真萩平菱ヶ岳線)	真萩平	委託料 2,429	実施設計 一式
	中川校橋 (中川生涯学習センター線)	坊金	委託料 2,344	実施設計 一式
浦川原区	学校橋 (蕨岡中下線)	小谷島	委託料 2,286	実施設計 一式
大島区	上岡橋 (梨ノ木線)	大平	委託料 5,100	実施設計 一式
	下達橋 (深沢ラテン線)	下達	委託料 3,458	実施設計 一式
吉川区	福平橋 (福平線)	東田中	委託料 3,132	実施設計 一式
板倉区	大熊川橋 (上久々野猿供養寺線)	久々野ほか	委託料 2,215	実施設計 一式
清里区	鈴倉橋 (鈴倉線)	鈴倉	委託料 3,443	実施設計 一式
	滝乃脇橋 (赤池上牧線)	梨平	委託料 4,914	実施設計 一式
名立区	森橋 (岩谷線)	森	委託料 3,599	実施設計 一式

◇令和2年度分 (修繕工事)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	春日山橋 (富岡木田線)	木田ほか	工事請負費 (前払金) 22,800	塗装塗替え 一式
	無名橋 (四辻町稲田橋線)	上野田	工事請負費 748	断面修復 一式
	無名橋 (上野田上真砂線)	鶴町	工事請負費 770	断面修復 一式

決算書 (P312～P313)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額		内容
合併前 上越市	無名橋 (鶴町4号線)	鶴町	工事請負費	154	橋台背面補修 一式
	無名橋 (藤塚2号線)	藤塚	工事請負費	913	断面修復 一式
	下上江橋 (大口高津線)	東京田	工事請負費	1,254	断面修復 一式
	無名橋 (大道福田北田屋線)	北田屋新田 ほか	工事請負費	726	ひび割れ補修 一式
	無名橋 (上島2号線)	上島	工事請負費	847	断面修復 陥没修繕 一式
	大貫橋 (更生橋大貫線)	大貫三丁目	工事請負費	847	断面修復 一式
	法光寺橋 (戸野目南新保線)	桐原	工事請負費	858	断面修復 一式
安塚区	芹田橋 (安塚石橋和田線)	小黒	工事請負費	8,767	ひび割れ補修 断面修復 塗装塗替え 一式
浦川原区	中央橋 (藤塚線)	長走	工事請負費 (前払金)	21,900	床版補修 一式
大島区	千原橋 (大平千原線)	大平	工事請負費 (前払金)	3,200	防護柵取替 一式
頸城区	無名橋 (大蒲生田線)	大蒲生田	工事請負費	856	断面修復 一式
	舟場橋 (百間町舟場線)	百間町ほか	工事請負費 (前払金)	5,400	ひび割れ補修 橋面防水 一式
吉川区	倉下橋 (大賀線)	山直海	工事請負費	5,566	断面修復 一式
	坪野橋 (高沢入線)	坪野	工事請負費	1,089	断面修復 ひび割れ補修 一式
	山中橋 (米山線)	山中	工事請負費	1,443	断面修復 ひび割れ補修 一式
板倉区	一ノ口橋 (別所高野線)	宮島	工事請負費	638	断面修復 一式
	無名橋 (板倉中央線)	長嶺	工事請負費	693	断面修復 一式
	柄山橋 (黒倉線)	久々野	工事請負費	1,705	断面修復 一式
	沖橋 (下長嶺稲増線)	長嶺	工事請負費	645	断面修復 一式
	上江橋 (山越飯喰沢線)	山越	工事請負費	253	定着部補修 一式

決算書 (P312～P313)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
板倉区	無名橋 (下田屋線)	下田屋	工事請負費 693	断面修復 一式
	無名橋 (下米沢南中島線)	下米沢	工事請負費 715	断面修復 一式
清里区	岡川橋 (岡野町馬屋中央線)	岡野町	工事請負費 (前払金) 9,600	ひび割れ補修 橋面防水 一式
名立区	花立二号橋 (花立線)	西蒲生田	工事請負費 (前払金) 3,200	ひび割れ補修 塗装塗替え 一式
	大沢入橋 (小谷線)	小田島	工事請負費 1,210	ひび割れ補修 一式

◇令和2年度分(その他業務)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
市内 一円	荒浜橋梁ほか (国道下荒浜線ほか)	下荒浜ほか	委託料 56,505	橋梁点検 235 橋

○目標達成状況

- ・橋梁点検については、222 橋の点検を 12 月末までに完了することができた。
- ・跨線橋、跨道橋の 13 橋については、各管理者と早期に協定を締結し、3 月中旬までに点検を完了することができた。
- ・修繕工事については、31 橋のうち 30 橋の工事発注を行ったが、1 橋については他事業との調整が生じたことから、早期に発注をすることができず目標を達成することができなかった。
- ・架け替え工事については、東日本旅客鉄道株式会社との協定の締結が 8 月に遅れた。
- ・国の補正予算活用分については、計画どおり早期に発注を行った。

【事業の成果】

- ・橋梁点検により橋梁の状況を把握し、早期に措置が必要な橋梁の修繕工事を実施したことにより、橋梁の長寿命化及び安全性の向上を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・橋梁の長寿命化と維持費の縮減を図るため、引き続き定期点検を実施し、損傷を早期に発見していく必要がある。
- ・修繕工事を計画どおり進めていくため、修繕箇所の損傷状況を的確に把握し、より正確な修繕費用の算出を行っていく必要がある。



決算書 (P312～P313)	8 款 2 項 4 目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

【執行残額について】

○入札差金	151
工事請負費	151
○その他	2
・事業実施に伴う端数残	2
委託料	1
補償、補填及び賠償金	1

(単位：千円)

決算書 (P312～P313)	8款2項5目 橋梁新設改良費	所管課等	道路課
事業名	橋梁整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
398,793	192,201	102,659		70,400	17,652 <small>(繰越金)</small>	1,490
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
206,375	217				217	

## 【目的】

狭隘な橋梁、老朽化した橋梁の拡幅架け替えや、災害発生時における地域の分断を防止するなど通行の確保が必要とされる橋梁の耐震化を図り、災害に強く快適に通行できる橋梁を確保する。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和2年度目標

- ・工事については、早期に発注し、河川占用協議により許可を受けた期間内に完了する。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ◇令和元年度繰越明許分

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額		内容	
合併前 上越市	有間川橋 (有間川橋国道線)	有間川	工事請負費	31,009	旧橋撤去	一式
	稲田橋 (四辻町稲田橋線)	稲田二丁 目ほか	工事請負費	146,833	耐震補強 (落橋防止装置) (変位制限装置)	N=24基 N=24基

## ◇令和2年度分

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額		内容	
合併前 上越市	有間川橋 (有間川橋国道線)	有間川	工事請負費(前払金)	12,000	旧橋撤去	一式
			補償、補填及び賠償金	687	物件補償	一式
	稲田橋 (四辻町稲田橋線)	稲田二丁 目ほか	委託料	1,672	河川占用協議 資料作成 市場価格調査	一式 一式 一式

決算書 (P312～P313)	8款2項5目 橋梁新設改良費	所管課等	道路課
事業名	橋梁整備事業		

○目標達成状況

- ・工事を早期に発注したことにより、河川占用許可を受けた工事期間内に現場の作業を完了することができた。

【事業の成果】

- ・橋梁の整備により、市民の安全な通行及び災害に強い橋梁の確保を図ることができた。

〔稲田橋 四辻町稲田橋線（稲田二丁目ほか地内）〕



竣工

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・橋梁工事については、河川内の施工期間が10月から5月までの非出水期に限定されることから、適切な工程管理に努めていく必要がある。

【執行残額について】

○その他	217
・実績が見込みを下回ったもの	217
工事請負費	217

(単位：千円)

決算書 (P312～P315)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	消融雪施設管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
435,396	253,858	72,418	5,060	41,100	510 (繰越金、諸収入)	134,770
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
180,706	832			685	147	

## 【目的】

冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、消雪パイプの更新を行うとともに、消融雪施設が所期の能力を発揮し良好に稼働するよう、適切な維持管理を行う。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■消融雪施設管理 115,230 消融雪施設修繕工事 20,199

## ○令和2年度目標

- ・消融雪施設の冬期前点検と修繕工事を早期に実施し、降雪期から確実に効果が発揮できるようにする。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(3月補正追加)

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・市道の消雪パイプ、流雪溝等の冬期前点検、調整及び清掃、冬期中の保守管理を実施した。
- ・冬期前点検により不具合が発覚した施設及び冬期中に故障が発生した施設について、修繕を実施した。

決算書 (P312～P315)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	消融雪施設管理費		

・消融雪施設の管理延長 (単位：km)

区分	消雪パイプ	流雪溝	無散水融雪
合併前上越市	24.7	11.1	0.6
浦川原区		0.6	
柿崎区	1.6	0.5	
大潟区	1.0		
頸城区	0.5		
中郷区	22.2	5.1	
板倉区	12.0		
清里区	9.0		0.04
三和区	1.7		
合計	72.7	17.3	0.64

・令和2年度の修繕件数 (単位：件)

区分	消雪パイプ	流雪溝	無散水融雪
合併前上越市	19	14	
浦川原区			
柿崎区	2		
大潟区	3		
頸城区			
中郷区	14		
板倉区	1		
清里区	3		
三和区			
合計	42	14	

決算書 (P312～P315)	8 款 2 項 6 目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	消融雪施設管理費		

○目標達成状況

- ・消融雪施設の冬期前点検を確実に実施するとともに、不具合の生じた施設を迅速に修繕することにより、冬期中にわたって所期の消融雪機能を発揮することができた。
- ・国の補正予算活用分については、計画どおり早期に発注を行った。

■消雪パイプリフレッシュ工事 118,429

○令和2年度目標

- ・消融雪施設整備計画に基づき消雪パイプリフレッシュ工事を早期発注し、降雪期までに完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(3月補正追加)

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和2年度の実施内容

地区	路線名	施工地	執行額	内容	備考
合併前 上越市	高校前北通線 ほか	南城町 三丁目	工事請負費 10,273	加温消雪パイプ取水口 改修 1か所	継続
	四辻町稲田橋 線	上野田	工事請負費 10,396	消雪井戸更新 1か所	継続
柿崎区	桐畑線ほか	柿崎	工事請負費 27,246	消雪井戸更新 1か所	継続
大潟区	大潟 311 号線 ほか	潟町	工事請負費 25,509	消雪井戸更新 1か所 消雪パイプ更新 L=219m	完了
中郷区	稻荷山坂本線	市屋	工事請負費 21,732	消雪井戸更新 1か所	完了
板倉区	長嶺・田井線 ほか	高野	工事請負費 16,439	消雪パイプ更新 L=262m	完了
	山部村中線	山部	工事請負費 6,834	消雪パイプ更新 L=103m	継続

○目標達成状況

- ・消融雪施設整備計画に基づき消雪パイプリフレッシュ工事を早期発注し、降雪期までに完了することができた。
- ・国の補正予算活用分については、計画どおり早期に発注を行った。

決算書 (P312～P315)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	消融雪施設管理費		

【事業の成果】

- ・ 消融雪施設整備計画に基づき老朽化した消融雪施設の更新を進めるとともに、施設の冬期前点検及び修繕を確実に実施することにより、冬期道路交通の確保に資することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

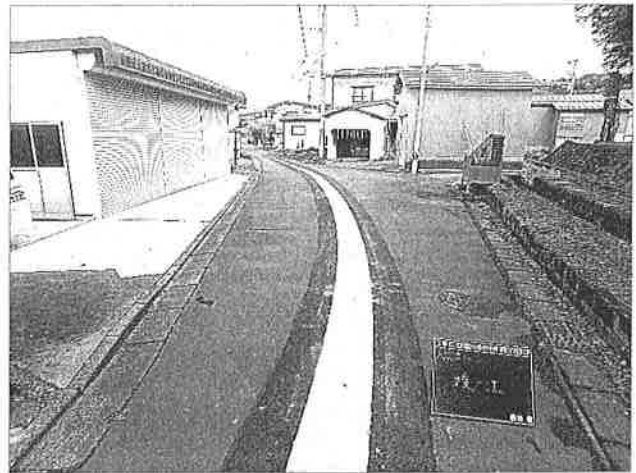
- ・ 県条例による地下水の揚水規制があり、井戸の新設が困難であることから、能力低下が見られる既存消雪パイプの長寿命化対策を計画的に行う必要がある。

〔消雪パイプの冬期前点検状況〕



(大町三丁目地内)

〔消雪パイプリフレッシュ工事の完了状況〕



(板倉区山部地内)

【執行残額について】

○入札差金	685
役務費	1
委託料	111
使用料及び賃借料	1
工事請負費	572
○その他	147
・実績が見込みを下回ったもの	147
旅費	1
需用費	2
役務費	142
使用料及び賃借料	1
負担金補助及び交付金	1

(単位：千円)

決算書 (P314～P315)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,097,675	5,918,345	1,516,645	100	92,000	54,001 (財産収入、寄付金、 諸収入)	4,255,599
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	179,330			58	179,272	

## 【目的】

冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、適切な除排雪作業を行うとともに、路面凍結防止対策を実施する。

除雪車が入れない狭隘な道路や高齢者宅前などを、地域の住民が共同で除雪する場合、小型除雪機の購入代金の一部を補助することで、地域の共助による除雪を推進する。

除雪事業は豪雪地域である当市において欠くことのできないものであるが、近年、建設業界では若年層の雇用が進まない現状から、除雪オペレーターの高齢化が深刻な問題となっている。

このことから、市道の除雪オペレーターに従事を希望する40歳未満の若年層に対し、資格取得に係る経費の一部を補助する。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■市道除排雪事業 5,904,457

## ○令和2年度目標

- ・通常降雪時の除雪作業は、おおむね午前7時前に完了させ、通勤通学時間帯の円滑な道路交通を確保する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・記録的な大雪となり、市道除排雪委託料の予算が大きく不足すると見込まれたため、2回の補正予算による増額で必要な市道除排雪作業を進めた。
- ・除雪機械の稼働費のほか全除雪事業者に除雪機械に係る経常的な支出をカバーする固定費を支払い、安定的・継続的な除雪体制を確保した。
- ・計画的な除雪機械の更新と適切な点検整備・修繕を行い、除雪体制の確保に努めた。



決算書 (P314～P315)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

・市道除排雪委託料

地区	春先 除雪	12月支出	1月支出	2月支出	3月支出	4月支出	合計
合併前 上越市	33	118,238	298,392	1,314,470	662,843	51,524	2,445,500
安塚区	108	14,522	85,270	131,457	90,491	33,834	355,682
浦川原区	0	9,893	51,838	109,496	71,637	18,704	261,568
大島区	0	11,576	54,794	75,378	49,354	13,377	204,479
牧区	88	16,722	78,476	109,517	79,074	43,581	327,458
柿崎区	0	6,410	27,785	57,433	10,902	1,004	103,534
大潟区	0	7,116	11,719	70,386	17,173	1,475	107,869
頸城区	0	15,225	30,258	117,267	34,709	2,294	199,753
吉川区	0	6,511	29,851	65,612	34,605	2,531	139,110
中郷区	0	10,127	56,069	91,981	43,942	26,183	228,302
板倉区	437	23,531	110,069	168,739	123,279	44,300	470,355
清里区	269	8,833	49,329	93,646	65,130	14,386	231,593
三和区	0	14,736	50,183	106,587	45,045	5,010	221,561
名立区	0	5,768	16,342	53,600	18,054	1,838	95,602
合計	935	269,208	950,375	2,565,569	1,346,238	260,041	5,392,366

※春先除雪・・・当該年度の4月1日以降に行う機械除雪  
(冬期間通行止区間の開通除雪や堆雪場の除雪作業)

決算書 (P314～P315)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

・除雪機械購入費

地区	除雪機械	規格	予定価格	契約額	落札率	契約業者
合併前 上越市	除雪ドーザ 11t級	M	21,450	16,346	76.2%	コマツカスタ マーサポート
合併前 上越市	小形除雪車 1.0m	46kW	11,131	11,110	99.8%	橋詰商会
安塚区	ロータリ除雪車 2.6m級	250kW	51,775	49,940	96.5%	山崎サービス
牧区	除雪ドーザ 18t級	S A	27,500	20,317	73.9%	コマツカスタ マーサポート
吉川区	凍結防止剤散布車	2 m <sup>3</sup>	15,928	15,620	98.1%	山崎サービス
中郷区	除雪ドーザ 18t級	S A	27,500	20,317	73.9%	コマツカスタ マーサポート
清里区	ロータリ除雪車 2.2m級	250kW	51,049	49,621	97.2%	山崎サービス
清里区	小形除雪車 1.3m	90kW	22,920	21,340	93.1%	山崎サービス
名立区	ロータリ除雪車 2.6m級	270kW	51,775	49,280	95.2%	橋詰商会
合計			281,028	253,891		

※予定価格の算出方法・・・参考見積り徴取による最低価格

※規格 (M: マルチプラウ) (S A: スライドアングリングプラウ)・・・排雪板の種類

決算書 (P314～P315)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

・備品修繕料

地区	支出	主な修繕内容
合併前上越市	58,463	<b>【除雪機械】</b> ヘッドライト取替修繕、スモール球取替修繕、リアアンダーミラー取替修繕、左右ステアリングホース取替修繕、左右ブームシリンダー用ホース取替修繕、トランスミッションオイル及びエレメント取替修繕、フロント及びリアアクスルオイル取替修繕、ブレーキペダル錆つき戻り不良修繕、シリンダーロードメッキ修繕、バッテリー取替修繕、センターエッジ肉盛修繕、パーキングブレーキ脱着オーバーホール修繕、シュート起倒シリンダー脱着オーバーホール修繕、雪こぼれ防止板曲り修繕、左右ドア下部錆落とし塗裝修繕、ラジエタークーラント交換修繕、ターボASSY交換修繕、マルチプラウシリンダヘッド側ホース交換修繕、フロント正面ワイパーモータ交換修繕、ワイパーアーム交換修繕 等
安塚区	16,064	
浦川原区	9,925	
大島区	6,565	
牧区	10,757	
柿崎区	12,473	
大潟区	7,552	
頸城区	2,603	
吉川区	13,778	
中郷区	8,491	
板倉区	5,522	
清里区	5,205	
三和区	7,870	
名立区	1,953	
合計	167,221	

(参考) 除雪体制の概要 (全市)

項目	車道除雪					歩道除雪			
	市道延長(km)	除雪延長(km)	除雪率(%)	除雪ドーザ(台)	ロータリ除雪車(台)	市道延長(km)	除雪延長(km)	除雪率(%)	ロータリ除雪車(台)
令和元年度	2,826	1,763	62.4	337	58	290	154	53.1	57
令和2年度	2,826	1,765	62.5	337	58	292	155	53.1	58
増減	0	2	0.1	0	0	2	1	0	1

※除雪ドーザとロータリ除雪車の台数は、貸与車と委託車を合わせた台数

※歩道除雪のロータリ除雪車は小形除雪車と小型除雪機を合わせた台数

○目標達成状況

- ・通常降雪時の除雪作業は、おおむね午前7時前に完了させることが出来たが、異常降雪時には、かき分け除雪が困難となり、走行不能路線が多く発生し、解消までに期間を要した。

決算書 (P314～P315)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

■小型除雪機購入費補助事業 384

○令和2年度目標

- ・広報上越等により積極的かつ早期に補助事業を周知し、降雪期までに事業を完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・申請のあった1団体に小型除雪機購入に要する経費の一部を支援した。

- ・補助実績 (単位：台)

区分	令和元年度 までの実績	令和2年度 交付台数	合計
合併前上越市	23	1	24
安塚区	21	-	21
浦川原区	1	-	1
大島区	1	-	1
牧区	2	-	2
柿崎区	3	-	3
吉川区	4	-	4
清里区	1	-	1
名立区	9	-	9
合計	65	1	66

○目標達成状況

- ・広報上越及び地区別除雪会議等を通じて補助制度の周知を行った。
- ・申請のあった1団体に対して、降雪期前までに小型除雪機の納入が完了し、補助金の交付を行った。

■除雪オペレーター雇用促進事業補助金 546

○令和2年度目標

- ・除雪事業者に補助事業の積極的な利用を促し、若年層オペレーターの雇用を確保する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・申請のあった希望者全員に、除雪機械運転資格の取得に要する経費の一部を支援した。

- ・交付実績 (平成29年度から実施) (単位：件)

区分	10代	20代	30代	計
令和元年度までの実績	7	17	12	36
令和2年度交付件数	4	5	3	12
合計	11	22	15	48

決算書 (P314～P315)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

○目標達成状況

- ・当初計画していた交付者数13人の見込みに対して、12人に資格取得に要する経費の一部を補助し、除雪オペレーターの担い手確保に寄与することができた。

【事業の成果】

- ・老朽化した除雪車の更新や除雪機械の速やかな修繕、消耗品の交換を行い、機械除雪体制を確保することができた。
- ・除雪車が入れない狭隘な道路や高齢者宅前などの除雪を行う団体に、小型除雪機購入費の一部を補助したことにより、狭隘道路等の円滑な交通を確保できた。
- ・深刻化する除雪オペレーターの高齢化の問題を解消するため、40歳未満の除雪機械運転資格取得希望者に資格取得に要する経費の一部を支援したことで、除雪オペレーターの担い手を確保し、安定した除雪体制の維持に寄与できた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・異常降雪に備えた冬期道路交通確保除雪計画を策定する必要がある。
- ・異常降雪を想定した除排雪機械の配置や除雪路線の幅員などの条件にあった除雪機械の購入を検討する必要がある。
- ・除雪オペレーター雇用促進事業補助金の補助対象者の年齢要件の引上げのほか、大型特殊自動車免許取得以外に、除雪オペレーターに必要な運転技能講習の受講費用にも支援が受けられることを周知し、除雪オペレーター資格者を確保していく必要がある。
- ・通信エラー等の不具合があった道路除雪管理システムの改修を行うほか、令和8年3月末をもって3G通信サービスの終了が決定していることから、3G通信サービスを使用している除雪管理システムの更新について検討を開始する必要がある。
- ・地域住民の共助による除雪活動の促進を目的とする小型除雪機械購入補助制度のほか、緊急的に地域住民が行った市道除雪等の経費を補助する制度構築が求められている。

【執行残額について】

○入札差金	58
委託料	58
○その他	179,272
・実績が見込みを下回ったもの	179,272
報酬	1
職員手当等	40
共済費	6
報償費	135
旅費	34
需用費	3,370
役務費	1
委託料	175,029
使用料及び賃借料	2
工事請負費	9
原材料費	540
負担金補助及び交付金	104
公課費	1

(単位：千円)

決算書 (P314～P315)	8款2項7目 克雪総合計画費	所管課等	建築住宅課
事業名	克雪住宅推進費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,350	7,461	1,865	3,725			1,871
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,889				1,889	

## 【目的】

克雪住宅の整備等を支援し、雪下ろしに伴う負担軽減及び危険を防止し、住環境の改善等を図る。

## 令和2年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和2年度目標

- ・広報上越や市ホームページ等を活用するほか、イベントの機会を捉え、制度活用に向けた周知を行い、克雪住宅の増加を図る。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・令和2年度の実績

受付期間	令和2年4月1日(水)～11月30日(月)
補助金額	7,461千円
補助件数	26件
補助金額等	・融雪式：440千円(補助基本額660千円×2/3上限) ・耐雪式、落雪式等：330千円(補助基本額660千円×1/2上限) ※要援護世帯は110千円の加算
対象地域	大潟区及び頸城区を除く全市

## ・克雪すまいづくり支援事業補助金交付実績

年度	融雪式		耐雪式、落雪式等		合計	
	件数	補助額	件数	補助額	件数	補助額
平成30年度	0	0	23	7,027	23	7,027
令和元年度	0	0	24	7,273	24	7,273
令和2年度	1	440	25	7,021	26	7,461

決算書 (P314～P315)	8 款 2 項 7 目 克雪総合計画費	所管課等	建築住宅課
事業名	克雪住宅推進費		

○目標達成状況

- ・広報上越や市ホームページへの掲載を始め、制度活用に向けたパンフレットの配布により事業の周知を進めたほか、26 件の克雪住宅の整備を支援し、克雪住宅の増加を図ることができた。

【事業の成果】

- ・広報上越やパンフレットの配布等を通じて事業の周知を行い、26 件の克雪住宅の整備を支援することで、雪下ろしの負担軽減を図り、冬期間の生活の安全・安心を確保した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・住宅の克雪化については、所有者の認識等により判断されるため、今後も広報上越や各種イベント等を通じて市民への事業の周知に努め、住宅の克雪化を支援していく。

【執行残額について】

○その他	1,889
・実績が見込みを下回ったもの	1,889
負担金補助及び交付金	1,889

(単位：千円)

決算書 (P316～P317)	8 款 3 項 1 目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	河川管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
374,453	143,307	995	8,796	108,800	2,607 (繰越金 譲収入)	22,109
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
230,067	1,079				1,079	

## 【目的】

河川及び河川公園の機能を適切な状態に保つよう維持管理を行うとともに、増水時には排水樋門や排水ポンプ等について適確な運転操作を実施し、内水被害の防止に努める。

また、地元関係団体等の活動を支援し、河川改修の促進や環境美化の向上を図る。

河川に堆積している土砂の撤去や樹木の伐採を実施し、流下能力の保全を図る。

河川の蛇行区間の河道整正や構造物築造による洗掘防止対策等を実施し、災害の発生予防や拡大防止を図る。

## 令和 2 年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■河川維持修繕・委託業務等

## ○令和 2 年度目標

- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(3月補正追加)

## ○実施内容、これまでの経過等

## ◇令和元年度繰越明許分 10,641

- ・普通河川道田川改修 路線測量、地質調査、実施設計 一式

## ◇令和 2 年度現年分

- ・樋門等維持管理委託 4,493

関川、保倉川などの市内 103 か所ある排水樋門・排水ポンプ等について、地元町内会等と連携し、操作業務を実施した。

- ・河川等維持管理委託 8,527

市管理河川及び河川公園等市内 33 か所において、除草や清掃、堆積土砂の撤去等を実施した。

- ・河川等維持工事 8,562

市管理河川 16 か所において、崩落した護岸の復旧工事等を実施した。

- ・各種協議会等負担金 544

新潟県河川協会を始め、各河川の改修期成同盟会や環境整備協議会へ負担金を支出した。

## ○目標達成状況

- ・国の補正予算活用分については、計画どおり早期に発注を行った。



決算書 (P316～P317)	8款3項1目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	河川管理費		

■緊急しゅんせつ推進事業 21,561

○令和2年度目標

- ・しゅんせつ工事については、早期に発注し、年内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

地区	河川名	施工地	主な執行額		内容	
合併前 上越市	前川	下馬場ほか	工事請負費	14,207	堆積土砂撤去	L=900m
	水戸の川	東城町三丁目	工事請負費	2,475	堆積土砂撤去	L=700m
三和区	江象川	島倉ほか	工事請負費	4,879	伐木	L=150m

○目標達成状況

- ・しゅんせつ工事については、年内に工事完了した。

■緊急自然災害防止対策事業 85,433

○令和2年度目標

- ・対策工事については、関係機関と施工時期等を調整し、年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

地区	施工地	主な執行額		内容	
合併前 上越市	下吉野ほか	工事請負費（前払金）	22,500	河道整正	L=1,200m
	福田ほか	委託料 工事請負費（前払金）	484 15,300	河道整正	L=900m
安塚区	細野	委託料 工事請負費（前払金）	946 9,900	洗掘防止対策	L=15m
	小黒	委託料 工事請負費（前払金）	990 4,400	洗掘防止対策	L=20m
浦川原区	上猪子田	委託料 工事請負費（前払金）	814 6,500	洗掘防止対策	L=15m
大島区	菖蒲	委託料	880	洗掘防止対策	L=20m
三和区	上広田ほか	委託料 工事請負費（前払金）	1,419 21,300	溢水対策	一式

○目標達成状況

- ・対策工事については、関係者との協議に日数を要したことから、全ての工事が繰越となった。

【事業の成果】

- ・樋門の操作・維持管理を地元町内会等に委託し、豪雨時の内水被害を防止するための体制を確保することができた。
- ・市管理河川及び河川公園等について、適正な維持管理により、良好な状態が保たれた。

決算書 (P316～P317)	8款3項1目 河川総務費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	河川管理費		

- ・地元同盟会等と連携し、河川整備事業等の促進に向けた要望活動により、事業の進捗が図られた。
- ・しゅんせつ工事により、河川に堆積している土砂の撤去や樹木の伐採を実施し、流下能力の保全が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・河川管理者や地元町内会と連携しながら、引き続き、除草等の実施による河川環境の維持とともに、増水時の排水樋門及び排水ポンプの適確な運転操作を実施し、内水被害の防止に努めていく。
- ・市管理河川について、堆積土砂の撤去や護岸の修繕等を適切に実施し、流下能力の確保に努めていく。
- ・緊急自然災害防止対策事業について、所管省庁との手続に日数を要することから、早期に地元調整を進めていく必要がある。

【執行残額について】

○その他	1,079
・実績が見込みを下回ったもの	1,077
報酬	4
共済費	5
需用費	195
役務費	65
委託料	742
使用料及び賃借料	8
工事請負費	48
負担金補助及び交付金	10
・事業実施に伴う端数残	2
職員手当等	1
旅費	1

〔しゅんせつ工事 準用河川前川（下馬場地内）〕



着手前



竣工